



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日～2020年10月31日にご同意いただいた方で
特に疾患のない方

【研究課題名】

精神神経ループス診断における血液・髄液分子Xの有用性の検討

【研究責任者】

渥美 達也（北海道大学大学院医学院 免疫・代謝内科学教室）

【本研究の目的及び意義】

精神神経ループス(NPSLE)患者さんにおける血液・髄液中分子Xの濃度を、精神神経症状を示さない全身性エリテマトーデス(SLE)患者さんや健常者と比較検定することで病態への関与を明らかにする。また、NPSLE診断における有用性について、感度・特異度、陽性・陰性的中率を算出し、診断ツールとしての有用性も明らかにする。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血清）、髄液
性別、年齢

【研究期間】

2020年10月14日～2021年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)